

【令和6年度障害児者医療研修事業】

	事業名 (相談・アドバイザー)	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講 師 (実習等講師)	開催場所	募集人数
障害児者医療研修事業	① 遺伝療育講演会 (中央病院 稲葉医師) 【センター費】	医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性を行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講義 ①「染色体・遺伝性疾患の最近の話題と疾患特性の理解2024」 ②「染色体・遺伝性疾患があるお子さんに対する作業療法～支援の実践について～2024」 ③「子どもと家族への関わり ～認定遺伝カウンセラーの視点から～」	11月10日(日) 13:30～16:30	染色体及び遺伝子疾患を持つ子どもの支援にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など	①医療療育総合センター 医師 稲葉 美枝 ②医療療育総合センター リハビリテーション科長 小松 則登 ③名古屋大学医学部附属病院 認定遺伝カウンセラー 森田 真未	ウインクあいち	80人
	② 重症心身障害児者医療療育推進講演会 (中央病院 三浦副院長) 【センター費】	重症心身障害児者が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演 「重症心身障害療育におけるF-Wordsの考え方と実践～機能、家族、健康、楽しみ、友だち、そして未来～」	7月6日(土) 13:30～15:00	重症心身障害児者医療に関わる関係施設職員、教育、療育、福祉関係者等	四天王寺和らぎ苑 リハビリテーション室長 榎勢 道彦 (座長) 医療療育総合センター 医師 山田 桂太郎	ウインクあいち ※中会議室 100名 予約済	80人
	③ 第12回あいち小児在宅医療・福祉・教育研究会 中央病院 三浦副院長 名古屋大学寄附講座 夏目教授 【センター費】	県内の小児期発達の発達の障害のある児(者)の在宅支援体制の拡充を図るため、小児在宅医療・福祉・教育等の関係者が一同に会する研究会を実施することにより相互に理解を深め、他職種連携の推進に寄与することを目的とする。 ○テーマ 「多機能事業所による医療的ケア児支援～地域共生社会への実現へ～」 ○基調講演 「無床診療所医師が重症心身障害児施設をつくった理由」 ○シンポジウム ①「みんなで支える心と体の成長共に分かち合う喜びのある暮らし」 ②「リハビリからリハビリテーションへ」そして、その先を目指して ③「医療的ケア児とその家族が地域と『出会う』瞬間について」	12月15日(日) 13:00～17:00	病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務看護師)、理学・作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など	(基調講演) 医療法人信愛会 社会福祉法人明世会 理事長 大石 明宣 (シンポジウム) ①愛知県ケアライン 代表 村瀬 晴美 ②千寿デンタルクリニック 歯科医師 板倉 康夫 ③終訪問看護ステーション 看護師 浅井 祐毅	名古屋大学 中央診療棟3階 講堂	150人
	④ 重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」 (中央病院 DST) 【センター費】	重症心身障害児者の「食べる」喜びを支援できるよう、障害児者の摂食機能障害や食事に関わる支援方法について、理解を深める。 ①「嚥下障害診療のキホン」 ②「私たち、こんな感じで食べてます」 ③「やさいい食事を考える」 ④「なにはなくとも口腔ケア」	9月21日(土) 10:00～15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、教員、療育・福祉関係者など	医療療育総合センター ①門野泉 ②鴨下裕子 岩田直子 渡邊朱美 杉浦淳子 ③稲垣幸恵 ④田中 恵	総合センター	40人
	⑤ 重症心身障害児者関係施設等支援者研修「リハビリコース」 (中央病院 門野医師) 【センター費】	障害児者のリハビリテーションに関わる知識や考え方を身につけ、総合的な支援ができる人材の育成を図る。 講義 ①「愛知県医療療育総合センターのリハビリテーション」 ②「小児リハビリテーションの問題点の解決」	10月12日(土) 10:00～15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育・福祉関係者など	医療療育総合センター ①栗林 健 渡邊朱美 加藤 智浩 渡邊文章 ②門野泉	総合センター	40人
	⑥ 重症心身障害児者の呼吸ケア研修 (中央病院 山田医師) (RST) 【センター費】	重症心身障害児者の医療を行う上で、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対処法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講演 ①「呼吸障害の病態と内科的管理法～長期的視点と医療機器の役割」 ②「日常生活にとりいれる呼吸理学療法～本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント～」 ③「呼吸障害に対する外科治療～気管切開術、咽頭気管分離術とその注意点～」 ④「呼吸の原点としての口腔管理と口腔ケア ～口腔病態と口腔ケアのポイント～」	11月17日(日) 10:00～15:10	障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士	医療療育総合センター ①山田桂太郎 ②中尾 龍哉 ③大島 一夫 ④加藤 篤	総合センター	28人
	⑦ 重症心身障害児者看護実践研修 (中央病院) 【センター費】	医療依存度の高い重症心身障害児者、医療的ケア児の支援に必要な看護技術のスキルアップを図る。 病棟実習・見学 呼吸介助、排痰介助、経管栄養、口腔ケア 人工呼吸器の取り扱い、排痰補助装置の説明及び使用場面などの見学 講義 「呼吸障害を起こす理由と看護ケアのポイント」 2日間のうち1日間(選択制)	① 9月25日(水) ②10月31日(木) ①実習 9:00～12:30 ②実習/講義 9:00～15:30	重症心身障害児者、医療的ケア児支援に関わる看護師	医療療育総合センター 中央病院(実習) 内科混合病棟 外科混合病棟 HCU病棟 医療療育総合センター 医師 山田 桂太郎	総合センター 内科混合 外科混合 HCU	20人 (各10人)